学校番号	１０１２

令和８年度　国際教養科

教科	国際教養	科目	中国語圏の文化Ⅰ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	基礎の中国語を楽しく学ぶ中国語一年生（好文出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

中国語の基礎を学ぶとともに、中国語圏の文化、歴史、社会など幅広い知識を学び、日本との比較、関係、結びつきなどを考えるとともに多文化共生の大切さを考えます。

言語面では、基本的な発音、中国や台湾の漢字、あいさつ、自己紹介、日常生活でよく使う中国語を学び、実践で使える語学力を身に着けていきます。また、４技能（聞く・話す・読む・書く）の基礎を学び、社会に出てからも使える中国語の学習方法で学びます。

まずは興味・関心を持って、楽しんで積極的に中国語を使えることを目標としています。

2　学習の到達目標

・中国語及び中華圏の国々の社会、歴史、文化等の理解を深められている。
・日本や諸外国と中華圏のとの理解、比較、それを通しての自分の考えや気づきが表現出来ているか。また中国語で表現できている。
・授業参加、授業態度、発表、質問、宿題等課題の提出物などの学習意欲が高いか。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・中華圏の国々の社会、歴史、文化等の理解を深められている。 ・中国語基礎の知識の理解・発音ができている。 ・単語や文法が理解、習得できている。	・日本や諸外国と中華圏のとの理解、比較、それを通しての自分の考えや気づきが表現出来ている。 ・中国語の基礎表現を使って自分の表現したいことを的確に表現できている。	・授業参加、積極的な態度 ・発表、質問、宿題等課題の提出物などの学習意欲が高い。 ・周囲の状況に配慮しながら、中国語で主体的、自律的にコミュニケーションを図ろうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1	中華圏の基礎知識 漢字・ピンイン・声調 挨拶、単語の発音 自分の名前の漢字と発音 自己紹介、数字（０～９９） 日付	a:中華圏と中国語の基礎知識がわかっているか。 b:文化の理解、自分の名前や数字の理解、それを使った表現ができるか c:授業に出席、参加し、積極的に発音できているか。課題が提出できているか	定期考査及び授業内小テスト（リスニング・筆記等）	授業中の発音の理解と表現。定期考査及び授業内プリント	積極的な授業参加、・提出物
2	「是」についての基本的な文章、否定文や疑問文 外来語 各国の名称、漢字、読み方 少数民族や、現代中国の紹介	a:文法、単語の理解・文化理解 b:「是」を用いた基礎表現の理解とそれを使った表現ができるか c: 授業に出席、参加し、積極的に発音、コミュニケーションが取れているか。課題が提出できているか	定期考査及び授業内小テスト（リスニング・筆記どちらも有）	各学習の発音の理解と表現。定期考査及び授業内プリント	積極的な授業参加、発音・提出物
	時間の表現 中国の歴史、世界遺産 映画鑑賞 中国茶、中国の食文化の紹介	a:文法、単語の理解・文化理解 b:時間の表現を使って様々な状況での時間を自分で表現できるか 映画、文化を学習して感じたことを表現できるか c: 授業に出席、参加し、積極的に発音、コミュニケーションが取れているか。課題が提出できているか	定期考査及び授業内小テスト（リスニング・筆記どちらも有）	各学習の理解と表現。定期考査及び授業内プリント	積極的な授業参加、発音・提出物
3	自分や相手のことについての表現、自己（他己）紹介 お金の表現	a:文法、単語の理解 b:自分、周りの人の事の簡単な紹介ができるか c: 授業に出席、参加し、積極的に発音、コミュニケーションが取れているか。課題が提出できているか	定期考査及び授業内小テスト（リスニング・筆記どちらも有）	各学習の理解と表現。定期考査及び授業内プリント	積極的な授業参加、発音・提出物

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度